

～子ども・保護者・学校をつなぐオープンスクールの取組～

6月、米子市内の8校の小学校でオープンスクールが実施されました。ねらいは「①新入学児の小学校への期待を高める、②保護者の不安を軽減し、つながりをつくること」です。それぞれの学校の工夫をこらした取組の中で、2学期以降実施される就学時検診や、学校体験などで参考となる取組を紹介します。

その1 先輩保護者がファシリテーターを務める保護者座談会



数人の年長児保護者グループに配置した1～2人の先輩保護者が、具体的な疑問に答えます。

ファシリテーター

勉強は？

友だちづくりは？

児童クラブの様子は？

登下校は安全？

【先輩保護者より】

- 1年生は数人でグループを作って下校します。地域の皆さんの見守りもあり安心です。
- うちの子も園から1人で入学。4月の初めは6年生も教室に来て遊んでくれ、喜んで学校に行きました。そのうち友だちもできますよ。

座談会全体の司会
県ファシリテーターの活用

雰囲気づくりのためのアイスブレイク、どの参加者にも発言の機会を保障するための付箋を使った話し合いが効果的です。

「とっとり子育て親育ちプログラムファシリテーター」
申込・問合わせ 鳥取県教育委員会事務局小中学校課
<http://www.pref.tottori.lg.jp> 電話0857-26-7521



その2 小学校入学への期待を高める体験・交流活動

地域人材の活用



5年生との交流



学校ごっこ

10分～15分の静と動の活動を組み合わせて実施



読み聞かせ

その3 子どもと保護者のイメージを深める自由な学校探検



雨の日はかっぱを着て歩いて学校に行くんだね。



給食の量は調節できるんだね。



楽器が置いてある部屋や、本がたくさん読める部屋があるよ。

【保護者の感想】

- 実際に自由に学校を見てまわる時間は貴重でした。
- 入学までに家庭でどんな準備ができるか、どんな経験が必要かを考える良いきっかけになりました。
- 娘もいろいろな発見をして学校が楽しみになったようです。

【保護者】

ご案内

小学校等教職員対象
幼保小連携・接続推進研修会

日時 令和元年10月10日午後1時30分から
会場 中部総合事務所 講堂
内容 スタートカリキュラムの改善
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿